

■ 現行の総合計画の策定から6年半余りが経過し、 富山県を取り巻く社会経済情勢は大きく変化

新たな課題

- ・ コロナ禍による変化への対応
（暮らし方・働き方の多様化、DXの加速化 等）
- ・ 激甚化、頻発化する自然災害への対応
- ・ 能登半島地震からの復旧・復興
- ・ 長引く物価高騰への対応
- ・ 人口減少社会の顕在化（県内総人口が100万人割れ） など

新たな総合計画②

- 県議会におけるご指摘
- 県内各地を回ってお聞きした県民の声



「**県民が夢と希望を持つことができる
分かりやすいビジョン**」が必要

新たな県政運営の基本方針を示す**新総合計画**を策定
— 新しい富山県の未来を描き、更なる成長・発展を目指す —

策定の考え方

計画期間：5年

概ね10年後の**将来の目指す姿を見据え**、
その実現に向けた**5年間の「施策の方向性」**を示す

- 「**富山県成長戦略**」(R4.2策定)の**ビジョンを継承**
- 「**とやま未来創生戦略**」を統合
(都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略としても位置付け)
- 「**未来に向けた人づくり**」と
「**新しい社会経済システムの構築**」の2本柱

策定の進め方

■ 富山県総合計画審議会 の開催

- ・ 令和7年1月日途 審議会へ計画策定の諮問

■ 県民と共に考え、共に実現する

- ・ 多くの県民の皆さんとの意見交換の機会を確保
- ・ 簡素で分かりやすい内容とする